

令和6年度 第4回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和7年2月4日（火）午後6時30分～午後7時15分

会場：墨田区役所13階 131会議室

次第

1 開会

2 議題

- (1)「墨田区こども計画」について（資料2）

3 報告事項

- (1)「墨田区こども条例」について

4 その他

5 事務連絡

- (1) 次回開催予定

令和7年3月26日（水） 午後6時30分から

墨田区役所13階 131会議室

6 閉会

配布資料

資料1 墨田区子ども・子育て会議委員名簿

資料2 墨田区こども計画

出席者（敬称略）

○委員

西村 孝幸（小梅保育園長）
西島 由美（にしじま小児科院長）
野原 健治（社会福祉法人興望館理事長）
浅見 佳子（相模女子大学准教授）
古屋 真（駒沢女子短期大学教授）
八重田 裕一郎（墨田児童会館館長）
東 百代（本所白百合幼稚園長）
星野 操（文花子育てひろば施設長）
土屋 恵子（主任児童委員）
末田 豪（立花吾孺の森小学校PTA会長）
平林 秀敏（墨田中学校PTA会長）
尾口 優子（青少年委員協議会委員）
山口 仁美（両中地区青少年育成委員会委員長）
徳原 広美（株式会社コーリン堀川取締役保育事業担当）
賀川 祐二（NPO法人病児保育を作る会代表理事）
高田 宏美（キャリー保育園東向島施設長）
真鍋 文朗（区民公募委員）
眞能 貴代（区民公募委員）
三井田 香奈（区民公募委員） ※オンライン出席
本谷 友実（区民公募委員）
横山 竜也（区民公募委員）
金澤 里美（八広幼稚園長）
浮津 あゆみ（緑小学校長）
吉岡 大司（桜堤中学校長）
国分 幸美（太平保育園長）

<傍聴者>

2名

○事務局出席者

酒井 敏春（子ども・子育て支援部長）、岩瀬 均（教育委員会事務局次長）、石岡 克己（子育て支援課長）、秋山 和栄（子育て政策課長）、細谷 勇治（子ども施設課長）、野澤 典子（子育て支援総合センター館長）、梅原 和恵（副参事（子ども・家庭支援連携担当））、中尾 清美（福祉保健部副参事（相談支援担当））、大八木 努（地域教育支援課長）

議事概要

1 開会

2 議題

(1) 「墨田区こども計画」について（資料2）

※墨田区こども計画の説明に際し、関連する「墨田区こども条例」（報告事項）について先に説明。

委員	・4月の第1回会議において、区から「墨田区こども計画の策定に関することについて」の諮問を受け、委員の皆さまから多くのご意見を受け、計画の最終案を作成することができた。
事務局	・墨田区こども計画は、「墨田区こども条例」の推進を目的としているので、次第の順番とは異なるが、本日は先に「墨田区こども条例」について、次に「墨田区こども計画」についての説明順とする。 ・（資料について基づいて説明）
委員	・「DX化」という言葉を使っているが、「DX」でトランスフォーメーションの意味なので、「化」の漢字はいらないのではないか。
事務局	・DX化という言葉が様々な場所で使われていたため、それに合わせている。ご意見をいただいたので検討する。
委員	・12月に開催された「SUMIDA×DX展2024」の「SUMIDA DX AWARD」で、子育て支援課が受賞した。
事務局	・お金のかからない、予算をかけないDXを目標に、予算がない中でも区民の利便性向上のために何ができるか、一年かけて検討し、大賞をいただいた。 ・これまで児童手当などの様々な手続きは全て紙での申請で、制度ごとに氏名と住所を書かなければならなかったところを、パソコンで1回入力すると複数の申請が一度にできるよう、改善を行った。かかったコストは新たに用意したパソコンとモニターのみで、データ等の必要な内容は職員が作成した。 ・また、その作成方法の動画をウェブサイト公開する等、お金をかけずに取り組んだところを評価いただいた。
委員	・資料2の「令和7年度の主な新規事業」の「区立幼稚園昼食費補助事業」について、区立だけでなく私立も補助があるという報告を先日いただいたが、「区立」と表記されている。「区内」などの表記であれば、私立も補助がもらえることがわかりやすくなるのではないか。
事務局	・その点については確認をし、その上で適切な表現に修正する。
委員	・計画中の「こども」の表記について、これまで実施していた事業で漢字表記が混ざっていることも不自然ではないと思うが、新規事業の中にも「子どもの体

	験活動支援事業」のように、漢字が使用されているものがある。これはどういった意味合いがあるのか。
事務局	・「墨田区こども条例」と「墨田区こども計画」のタイトルについては、こども基本法に基づいた表記になっている。 ・ただ、法に基づいているものや、事業などで通常に使用するものに関しては、「子ども」という表記を使用している。 ・なお、国は「こども」、東京都は「子供」を使用している。行政の中での一つのルールだと考える。
委員	・今回のパブリック・コメントにおいて、意見者として「子ども3人」という表記があったが、これは何歳の子どもか。
石岡課長	・パブリック・コメントには定義があり、名前や年齢、連絡先が明示されている意見をパブリック・コメントとして扱っている。 ・今回は、教育委員会事務局の協力を得て、区が子どものもとに出向いて説明をし、意見を聴取している。 ・年齢的には、小中高生である。
委員	・では、正確にいうとパブリック・コメントではないということか。 ・また、ランダム抽出ではなく、子どもたちの属性などにフィルターがかかっているということか。
事務局	・おっしゃるとおりである。 ・ただし、区公式ウェブサイトや学校で、匿名で意見者を募る一般募集も行っている。
委員	・第Ⅱ部については、「子ども・子育て会議」への諮問事項となっているので、2月21日に山本区長へ「墨田区子ども・子育て会議」からの答申という形でお渡しすることを、ご承知おきいただければと思う。 ・これだけ多くのパブリック・コメントが寄せられたということは、子どもに関することに、強い関心を持たれている区民の方が多くいらっしゃるという実感を持った。

3 報告事項

(1) 「墨田区こども条例」について

※前述のとおり、議題にて説明した。

4 その他

事務局	・子ども・子育て会議は、3月末にあと1回を残すのみとなり、今年度で委員の任期が満了となる。それに伴い、各団体に令和7～8年度の2年任期の委員推薦の依頼をするため、ご協力いただきたい。 ・また、公募委員も募集を締め切っており、今後面接を行う。
-----	---

	・昨年5月に行った「こどもわくわくフェスティバル」を、令和7年度も同様の形で開催したいと考えている。 ・昨年5月は「こどもまんなかすみだ」のキックオフイベントという位置付けで開催したが、令和7年度は墨田区こども条例と墨田区こども計画ができることから、これらを広く子どもたちに知ってもらうことを主眼としたイベントとして位置付け、開催したいと考える。 ・本日ご出席の委員の皆さまは3月で任期満了となるが、ぜひこのイベントにもご協力をいただきたい。 ・日程は、前回と同じ5月の最終日曜日の、5月25日を予定している。
委員	・各団体から選出されている委員は、今年度で任期終了のため、各団体から推薦をお願いすることになる。交代する場合には、子ども・子育て会議の概要について後任者に引き継いでいただけると、新年度の会議を円滑に進めることができるので大変ありがたい。 ・「こどもわくわくフェスティバル」も、当初1回のみの予定だったところ、大変盛況で、保護者や関係団体の方から「また来年も」といった話が出ていた。「1回目は盛り上がったが2回目はちょっと」とならないように、ぜひご協力いただき、子どもたちが楽しめるイベントにしていきたい。

5 事務連絡

業務連絡／次回開催について

事務局	・次回は、3月26日（水）午後6時30分から、本日と同じく131会議室で開催する。 ・次回の内容は、3月13日の議会で墨田区こども条例の議決、及び墨田区こども計画の報告をするため、その報告という形になる。 ・また、2年間の最後を締める日なので、皆さまからの感想もいただきたいと考えている。
-----	--

6 閉会

以上